学校経営マネジメント　～質の高い学校経営の実現を目指して～

令和７年４月２日
狛江市立狛江第一小学校
統括校長　荒川 元邦

【一中ゾーンの義務教育を修了した時の姿】
**狛江で学んだことを
生涯の誇りにできる生徒**

【教育目標】
〇学び合う子　〇なかよくする子　〇がんばる子

「探究する一小」　「一人ひとりが輝く一小」
～生涯を通じて、生命を尊重し、健康で幸せな生活を追求する～

子供ファーストの教育活動の推進

【知】主体的な学び

〇　探究する基盤となる基礎的・基本的な学びを身に付ける。
〇　デジタルの活用、対話等を通じて、問いを見出し解決策を考える「深い学び」を実現する。
〇　健康的な生活の基盤となる、食育、性教育、がん教育などを相互に関連付けて学ぶことができる。
〇　ＣＳ一中ゾーンの連携を強化し、小中９年間を見通して自身の成長する姿を考えることができる。

【徳】生命尊重、自他を思いやる心

〇　ＷＥＢ-ＱＵを活用し、「楽しい学校」「充実した学び」ができる学校生活を目指す。
〇　自他を思いやることができるよう教育活動全体を通して、道徳心や人権尊重の精神を確実に身に付ける。
〇　教職員が連携し「チーム学校」で対応することで、重大案件等に発展しないよう、解決策を身に付ける。

【体】健康教育の充実によるウェルビーイングの向上

〇　生涯を通じて、心身の健康を保持増進、幸せな生活を送ることを目指す探究心を身に付ける。
〇　「生命尊重」を第一に考え、「知」「徳」で得た学びを実践する態度を身に付ける。
〇　「持久走」「縄跳び」など系統性を重視した意図的・計画的な体育活動により、体力の維持と向上を目指す運動を習慣化する。

更なる学びの深化

本物に触れ本質を知る体験教育の重視

〇　オリンピアン・パラリンピアン、プロ野球選手等による特別授業や能など、日本の伝統文化に触れる体験活動により、物事の本質を学ぶ。
〇　「ＮＰＯ法人 ＷＲＯJapan」と連携し、ロボットプログラミングの基礎を学び、論理的思考力を身に付け、ESD の視点に立ったロボットの役割等を理解する。
〇　地域の方による「昔遊び」や地域コーディネーターを核とした地域人材の積極的活用よる野菜の栽培・収穫を体験することで、郷土愛を深める。
〇　税理士による租税教室、薬剤師による薬物乱用防止教室の他、保護者ボランティア等ゲストティーチャーから専門的な知識を学び、自身のキャリアに結び付ける。

土台となるの
安心安全
多様性の尊重

安心・安全な学校づくり

〇　タブレットを活用し、具体的で分かりやすい、全校統一した安全指導を徹底する。
〇　子供たちの視点に立って危険な箇所を見逃さないよう、施設点検を徹底する。
〇　長期休業中の相談フォーム、休業明けメッセージの配信等で、子供たちの心の安定を図る。

インクルーシブ教育システムの構築

〇　教員自身が「インクルーシブな社会づくり」を理解し、通常学級への特別支援教育の理解(啓発)教育や通常学級と固定知的学級との垣根を超えた連携を強化することで、インクルーシブな学校づくりの社会モデルを構築し、子供の多様性を尊重し、「誰一人取り残さない教育」を推進する。

「働きがい」があり「働きやすい」職場環境づくり

教育活動を推進する「学びの専門職」集団

「働きやすい」職場環境作り～働き方改革の具体的取組

〇　職員会議等を大幅に削減し、ハートいっぱいの日（会議を入れない午後の時間）を設定するなど心にゆとりを持てるようにすることで、勤務時間の短縮を図る。
〇　教材、会議資料、配布物等のペーパーレス化を推進する。
〇　時差勤務及び cachatto を活用したテレワークを積極的に活用する。
〇　月１回の「労働安全委員会」での産業医との連携による面接等を実施する。

「働きがい」の醸成～人材育成

〇　日常的な授業の見合いの習慣化するため、ワンノートに専用コーナーを設置し活用する。
〇　小教研の授業や市の初任者研修等の講師を積極的に引き受ける。
〇　校内ＯＪを充実（１０本実施）させ、専門的な知識・技能を身に付ける。
〇　防止研修の充実や具体的な事例の情報提供等による服務事故防止を徹底する。
〇　大学生（TA、実習生、インターンシップ等）を積極的に受け入れる。